

“第1回ふるさとの巨樹・名木探訪観察会”開催！！

平成30年7月25日(水)に中津川市加子母地内において“第1回ふるさとの巨樹・名木探訪観察会”を開催しました。

「県下各地に存在する巨樹や名木、美林などを訪ね、樹木にまつわる歴史や保護・保存などについて、観察・研修し、木や森を守り育てることへの理解を深めること」を目的として、今年から取り組みが始まりました。

参加者の方にはそれぞれ岐阜駅・中津川市モクモクセンターのいずれかからバスに乗車してもらい、加子母地内の自然に触れて頂きました。

～当日の1日の流れ～



岐阜駅

岐阜駅を出発！

いよいよ「ふるさとの巨樹・名木探訪観察会」のツアーが始まりました。



加子母モクモクセンター

モクモクセンターへ到着しました！

当日1日案内をして頂いた加子母森林組合の内木組合長と合流しました。

加子母の自然をより体感するため、細い道も走行可能な小型バスに乗り換え出発しました。



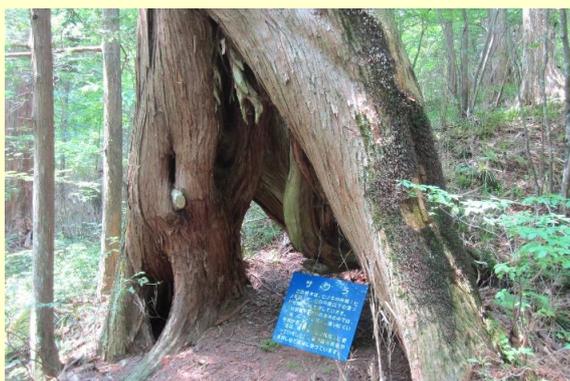
加子母裏木曾国有林(付知峡自然休養林)

自然休養林の中を徒歩で進み、見学しました。

人の手を加えていない山のありのままの姿は、私たちが見慣れている人工林とはどこか雰囲気違います。

樹齢300年を超える木、曲がった木、岩に絡まって立っている木など力強さを感じる木々が出迎えてくれました。

谷を下ると、きれいな川があります。参加者の方は水の冷たさや流れる音を体感していました。また、水の透明さや色に驚き、感動した様子でした。





高樽の滝

付知川の上流にある高樽の滝を見に行きました。

高樽の滝は、落差が20メートルほどあります。参加者の方々は、滝のすぐ隣に架かる橋から見学し、滝の迫力を感じていました。

当日は天気にも恵まれ、虹も見えて美しい景色を満喫することが出来ました。階段を少し下るとより近くで滝を見れるようになっていきます。近づいて見ると一段と滝の勢いを感じる事が出来ました。





加子母旧神宮備林

伊勢神宮の式年遷宮に実際に使われた木の伐り株を見学しました。式年遷宮に使われる木を伐るときには、昔から伝わるしきたり(三緒伐り・とぶさ立て)があり、木の恩恵を大切にしてきた文化を感じ取ることが出来ました。



昼食

加子母森林組合間伐材利用推進センターにて、加子母名物の朴葉寿司を頂きました。加子母森林組合長の内木さんに、地元の東濃ヒノキについて教わりながら美味しく頂きました。



加子母大杉 (樹高30.8m・幹回り1300cm)

天然記念物に指定されている加子母の大杉を見学しました。何度も天災にあいながらも、立ち続ける姿は圧巻でした。

大杉は歴史とも深い結びつきがある巨樹で、参加者の方は、日本の歴史にも触れる機会となりました。





明治座

明治27年に建てられた加子母明治座に行きました。幕の上げ方・下ろし方などの説明や、回り舞台の床下を案内して頂きました。実際に体験することで、昔の方の知恵を知ることが出来ました。参加者の方には木造の建物の温かみも感じて頂けたと思います。



加子母森林組合木材加工センター・木材市場

予定時間までに時間があつた為、加子母森林組合長内木さんにご案内頂き、加子母森林組合木材加工センターと木材市場を見学しました。普段は目にする機会のない、ヒノキからガスやオイルを抽出する機械や、実際に出荷される材木に触れる貴重な機会となりました。





バスに乗り込み、モクモクセンター・岐阜駅にて解散し、
今回のツアーは終了しました！

ご参加ありがとうございました。
また来年もぜひ参加してくださいね！

